



総合リース・レンタルシステム Lease&Rental System for Windows

☆☆☆ 新見積決裁オプション ☆☆☆

Easy &
Speedy

見積作成後の稟議決裁を見積データ上に保持。
稟議書のペーパーレス化にも貢献。
決裁者はボタン1つで稟議待ち案件を検索可

◎見積稟議の決裁承認手続きをサポート

☆ 基本コンセプト ☆

従来の稟議決裁と言えば、見積書や計算書、稟議書などを決裁担当者に渡し、承認されれば次の決裁担当者へ渡し、非承認ならば前の決裁担当者に戻す、、、。ペーパー管理が主流であり、稟議決裁中に稟議書を紛失、あるいは、見積のやり直しで再度前の決裁担当者まで差し戻すなど、管理が煩雑ではありませんか？

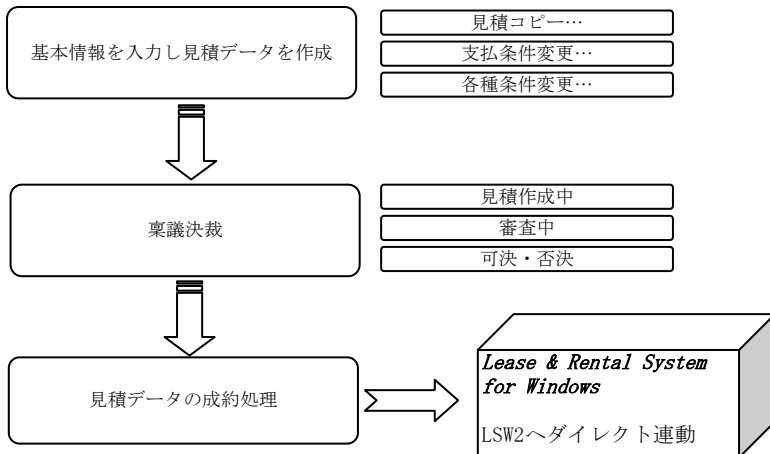
LSWの新見積決裁オプションは、各担当者に決裁権限（決裁額、上位決裁者）を持たせることにより、見積担当者が作成した見積稟議の最終決裁担当者を自動的に決定します。担当者と決裁権限のマスタを分けている為、担当者の配置転換などが生じても権限自体には変更がないため、担当者マスタで決裁担当者名だけを修正することにより配置転換と同様の稟議決済が行えます。

また、稟議決裁途中では成約処理（契約確定処理）が行えないようロックされています。LSWのパスワード管理を利用していている場合は、見積担当者、決裁担当者のログオン後に、現在担当している見積案件数が自動表示される機能もございます。

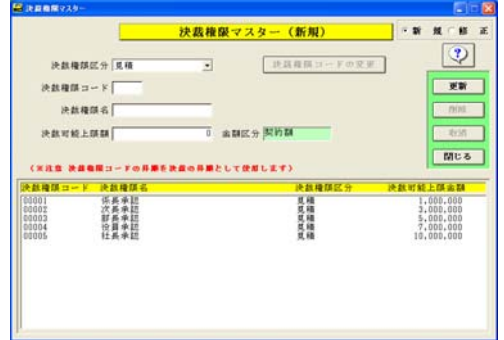
◎オプションの特長

- 1 決裁権限と担当者のマスタを切り離し、決裁担当者の配置転換等で担当者が変更になる場合でも見積データの修正を行うことなく、引き続き稟議を続行できます。
- 2 パスワード管理を利用している場合は、ログオンユーザーと決裁担当者を自動判別し各自の担当案件数を画面表示させます。
- 3 各決裁担当者はボタン1つで稟議待ち案件をリアルタイムに把握可能です。また、各見積担当者は自分の案件の稟議の進捗をいつでも見ることが可能です。
- 4 見積データに重要度を付加することができます。ユーザーコードマスターとなっており、自由に重要度を設定することが可能です。
- 5 決裁入力では、決裁情報を入力する手助けとして、稟議書と同様の内容が画面でも参照可能となっています。
- 6 稟議書を印刷することなく、画面上だけで稟議決裁をすることができます。貴社のペーパーレス化に貢献します。
- 7 自動設定された最終決裁担当者の可決決裁が入力されるまで、見積成約処理は行えません。見積担当者が誤ってLSW2システム側へデータ転送できないよう自動ロック機能を設けています。

◎見積決裁処理の流れ



画面サンプル（決裁権限マスター）



画面サンプル（シミュレーション画面）



画面サンプル（見積申請処理）



注）LSWは、株式会社リースシステム企画開発・販売のリース・レンタル業務向け基幹パッケージシステムです。



株式会社 リースシステム企画

〒333-0851
埼玉県川口市芝新町4-6 YS TOWER 5F
TEL 048-263-1733 / FAX 048-269-1745
E-mail : lsp@lease-system.co.jp
URL : http://www.lease-system.co.jp/

販売代理店

※）Microsoft, Windowsは、米国マイクロソフト社の登録商標です。
※）記載の内容及び製品の仕様は、改良のため、予告なく変更する場合があります。